

記念物 史跡

国指定

さんやかいづか
山野貝塚

■ 所在地：飯富3516-8ほか
■ 所有者・管理者：個人、法人、
袖ヶ浦市



昭和48年 発掘調査の様子



柄鏡形住居址



出土した土器

縄文時代後期～晩期（約4,000年前～2,300年前）の貝塚です。過去7回の発掘調査を実施し、南北110m×東西140mの範囲に馬蹄形に貝層が広がっていることが確認され、その保存状況が極めて良いことがわかりました。山野貝塚は房総半島の東京湾岸（東京湾東岸）のほぼ中央部に位置しており、縄文時代の貝塚が密に分布する東京湾東岸において、現存する大型貝塚としては最も南側に所在します。さらに、この地理的特徴を反映し、東京湾内湾部と外湾部の両貝塚の要素をあわせもつ貝塚として注目されます。このような特徴を有する山野貝塚は、東京湾東岸の貝塚群を考えていくうえで非常に重要な遺跡であることから平成29年10月に国史跡に指定されました。